

★久しく待ちにし ★耕地を耕せ、良い地に種を蒔け

久しく待ちにし (賛美歌 94 番)

1. 久しく待ちにし 主よ
とく来たりて
み民の縄目を 解き放ちたまえや
主よ、主よ、
み民を 救わせたまえや
2. 明日の星なる 主よ、とく来たりて
お暗きこの世に み光をたまえ
主よ、主よ、み民を 救わせ給えや



メリー・クリスマス！

とても寒い毎日ですが、お元気でいらっしゃいますか？

12月に入ってから、4日河内長野市民クリスマス（写真）、5日月曜礼拝（大阪、「ミッション・宣教の声」主催）、9日新潟の敬和学園、11日札幌・サンプラザホテル（北栄教会主催）、18日東京町田市・エヴァグリーン・チャペルと、各地で5回のクリスマス・コンサートをさせていただきました。ハードなスケジュールの中、健康も守られ、主がそれぞれのコンサートを、大きく祝福してくださいました。

今年下半期の賛美コンサートは、「キリストの十字架」がテーマでした。そして、クリスマス・コンサートでも、引き続き、イエス様の十字架を大胆に語らせていただいています。十字架で私たちが罪の縄目から解放してくださるために生まれてくださったイエス様に、心からの感謝と賛美を捧げつつ！

★耕地を耕せ、良い地に種を蒔け

ところで、一昨日、9日にコンサートをさせていただいた敬和学園より、学生さんたちのアンケートのコピーが届きました。

読ませていただいて、感動しました。というのは、学生さんたちの多くが、私の伝えたかったことを、そのまま受け止めてくださっていたからです。

「イエスは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来られた、ということに共感した。」
「ひとつひとつの歌詞を心から歌う工藤さんの歌に、神の愛の素晴らしさを感じた。」
「愛の真の意味が分かってきた。」
「生まれた時から人は罪を背負って生きている、ということばが印象に残った。神を信じる大切さに気づかされた。」
「愛を求めるだけでなく、与える者になりたいと思った。」

これらのことを、何と多くの学生さんたちが、共通して感じてくれたのです。

敬和学園は「聖書が伝える真理は永遠に変わることはない真理であり、その中に人類の未来を指し示す光、知恵と活力の源泉がある」というモットーで、キリスト教主義を教育の根幹に据えています。そのようなキャンパスで、学生さんたちの柔軟な心は常に耕されているのです。大学が畑を耕し、私が、今回、賛美を通して福音の種を蒔かせていただきました。あとは、主がその種を成長させてくださり、ハーベスト・タイム（収穫の時）が来ることを、大きな期待とともに、心から祈っています。

★お祈りください

私の今年のコンサートも、24日の、京浜キリスト教会のクリスマス・イブ・コンサートを残すばかりとなりました。最後のコンサートを、主が大きく祝福して下さいますようお願いください！

12月24日（土）京浜キリスト教会 クリスマス・コンサート 19:00~20:30 入場無料
相模原市東淵野辺 1-6-5 お問い合わせ：教会 042-754-9404

風邪が流行っています。皆様のご健康が守られますように、心からお祈りしています。

最後になりましたが、今年も、皆様の厚いご支援とお祈りのお支えによって、AKMMの賛美伝道活動を続けることができました。心より感謝申し上げます！

そして、どうぞ主の愛と祝福に満ち溢れたクリスマスと新年をお迎えください！

工藤篤子